

いて、商店街への加入を要件に加える一方、補助対象地域の拡大をします。

◎水道施設の地震対策

基幹となる水道管の耐震化や防災拠点施設への応急給水栓の設置などを引き続き推進します。

◎自然流下による給水方式の整備

従来の増圧ポンプでの給水方式から、自然流下による配水区域を拡大するため、砂谷高架型配水池の建設を進めます。

安全で快適に住み続けられるまち

◎自然災害への心構えの啓発

大規模地震や風水害に対し、新たに制定した「はんだ防災憲章」などを活用し、一層の防災意識の啓発に努めます。

◎計画的な防災資機材の備蓄

熊本地震をはじめとした災害を教訓に、備蓄計画を見直し、要配慮者支援に必要な生活資材を計画的に備蓄していきます。

◎消防団車庫の建替え

分団詰所の機能充実を図るため、乙川北分団の車庫建替えを実施します。

◎ため池の堤防強化

ため池の堤防決壊による被害を未然に防止するため、杣廻間池改修の実施設計に着手し、ため池の改修を進めます。

◎乙川中部土地区画整理の推進

事業の進捗に伴い、住宅のほかに

も事業所や医療施設が進出するなど、有効な土地利用が図られてきており、建物移転から見た進捗率は、29年度末で98・1%となる見込みです。

◎JR武豊線半田駅付近連続立体交差及び高架側道整備の推進

愛知県や鉄道事業者と協力し、用地の取得を進め、38年度の完成を目指します。

◎JR半田駅前土地区画整理の推進

公共用地の先行取得を進め、皆様と一緒にこの地域のまちづくりについて議論を深めます。

◎新たな公共交通の構築

市民のくらしの足を支える公共交通が求められているなか、地域公共交通の基本計画となる「半田市地域公共交通網形成計画」を策定し、30年10月を目途に基幹路線バスの実証運行をします。

◎市民に親しまれる港づくりの推進

衣浦みなとまつりにおいて、花火大会を開催するほか、市制80周年記念事業として帆船「海王丸」を招へいます。

◎雨水排水対策の強化

局地的豪雨等による浸水被害の発生が懸念される地域を対象に、引き続き雨水管きよの整備を実施します。

◎市民に親しまれる雁宿公園の形成

旧交通公園跡地に芝生広場や子ども広場を整備するとともに、半田球場を改修し、かつて「雁宿千本桜」として市民に慕われた名所を復活さ

せるだけでなく、四季折々に楽しんでいただける憩いの場として再整備を完了します。

◎良好な景観形成の推進

半田運河周辺と岩滑地区において、景観に配慮した道路整備を実施するとともに、建築行為などへの助成を行い、歴史的・文化的価値の高い建物を活かした景観形成と、南吉童話の世界を連想させる良好な景観形成を進めます。

育ち合い共生を進めるまち

◎キャリア教育の充実

子どもの夢を応援するため、地域ぐるみで子どもの成長を支える学校づくりを進めます。なお、学校運営支援協議会は、文部科学省が導入促進を図るコミュニティ・スクールへの移行を目指していきます。

◎特別な支援体制の充実

学校生活支援員の適正配置や相談員の増員により、不登校や問題行動の未然防止と解消に努めます。

◎学校施設の改善

小中学校施設について、洋式トイレの割合が50%程度になるよう改修を行うとともに、小中学校の校舎等の大規模な改築等を実施するための基本計画を策定します。

◎公共施設の安全対策

乙川交流センターニコバル、半田市体育館、青山記念武道館、半田福祉ふれあいプール、図書館・博物館

のエントラスホールでは天井改修、雁宿ホール大ホールでは壁面改修等を実施します。

◎新美南吉記念館の利便性向上

来館者が快適に過ごせるよう、大型東屋と園庭からなる屋外休憩施設を建設します。

自立した地域経営のまち

◎市税等の収納向上対策

税負担の公平性と財政運営の安定性を確保するため、賦課・徴収部門が一体となつて、収納率の向上と累積滞納額のさらなる縮減に取り組めます。

シテイプロモーションの取組の中で、ふるさと半田応援団の皆様と一緒に半田の魅力について議論をしました。醸造をルーツとし、様々なチャレンジを重ねてきた結果、祭りをはじめとした豊かな文化や市民力が築かれ、これが今の半田の住みやすさにつながってきています。

これらの議論を基に生まれたキャッチフレーズが、「情熱、蔵出し。半田市。」です。先人から引き継いだ歴史文化と、チャレンジを重ねる情熱を醸し、そして蔵出しし、さらに90年、100年と成長する半田市としていく決意でこの一年取り組んでいます。

